## 児童・思春期精神医療入院診療計画書(医療保護入院者用)

患 者 氏 名			(男・女)		月日	昭和・平成・令和			
						年 月	日生 ( 歳)		
診断名	診断名 (状態像名)					ICD-10(コード	番号):		
I . 発育	ず・社会的:	環境							
発達・生育歴		家族構成:	家族構成: 社会的環境		環境	:	c. 職歴		
□特記事項なし		(同居家族を	(含む)	a. 就学状況					
口あり				b. 教育图	o. 教育歴		d. 交友関係など		
				(最終学	<b>芝</b> 歴:	)			
Ⅱ. 入防	院時の状況								
入院年月日		年 月 日	(曜日)	入防	ž Č	□任意入院	□医療保護入院		
				形息	SNS	□措置入院	□その他		
主	患者:								
訴	家族(父・	母・その他 )	:						
₩ DU 3~ 3× 3	*	. Г. Д. — — — — — — — — — — — — — — — — — —							
	養管理の必要 たな、 問題行								
症状 および 問題行動:									
A. 行 動: a. 動 き: □多動 □寡動 □常同症 □拒絶症 □奇妙な動作( )									
b. 表 情:□不安・恐怖・心配 □憂うつ □怒り・敵意 □無表情									
c. 話 し 方:□緘黙 □不明瞭 □吃音 □反響言語 d. そ の 他:□睡眠障害 □食行動異常 □排泄障害 □習癖異常									
B. 情		三 □無感情 □怒り・							
-		もり 口自己中心的				2,141,00			
		[漫 □興味限局 □記			学習 (	能力)障害			
E. 意		よ は に は に は に は に は に は に は に り に り に り に							
F. 意									
G. 行 為:□自傷 □他害·暴行 □盗み □器物破損									
H. 知									
I. 思 考:□心気症 □強迫観念・行為 □恐怖症 □自殺念慮・自殺企図 □離人体験 □病的な空想 □作為体験									
	□罪業署	妄想 □被害・関係妄	想 □その他の妄	想(		) □連	合障害		
J. そ の	他:□病識欠	如 □不登校 □計画	i的な行動がとれた	£V\ □ <u>í</u>	動コ	ントロールの欠如	□主体性の未確立		
具体的な事	事柄:								
(※)担									
主	治医	看護師	精神保健福祉	:士		公認心理師	その他		

Ⅲ. 治療計画		(患者	氏名	)		
推定される入院期間(	(  週間/月)	基本方針:				
(うち医療保護入院に	よる入院期間:					
	)					
本人の希望:		治療と検査:				
		A. 治療:				
		精神療法:				
家族の希望 :		□個人精神療法:	回/週 □集団精神療法:	回/週		
		□認知行動療法:	回/週 □生活療法:	回/週		
		薬物療法:				
目標の設定:		□抗精神病薬 □抗うつ薬 □抗躁薬 □抗不安薬				
		□抗てんかん薬 □睡眠導入剤				
		□その他(	)			
同意事項:		B. 検査:				
□検査	□診断の確定	理化学検査:				
□薬物療法の調整	□精神症状の改善	□血液検査 □心電図 □脳波 □X線				
□問題行動の改善	□生活リズムの改善	□CT(MRI)検査 □その他(				
□家族関係の調整  □主体性の確立		心理検査:				
□社会復帰		□知能検査(				
□その他 ( )		□性格検査(	)			
行動制限:□なし □	]あり(電話、面会、外出	、 、外泊、その他 )	隔離室・個室使用:□なし	□あり		
	れた退院後生活環境相談	 員の氏名				
退院後の目標:	つ の 他(			)		
				,		
面接:	<u>-                                      </u>	 具体的アプローチ	<u>.</u>			
	/週・月(□父親 □母親	□その他( ))				
□本人との同席面接	: 回/週・月					
その価・						

## V. 学校・教育へのアプローチ

□家族療法:

入院中の教育的配慮:	学校への具体的アプローチ: □本人の同意 □保護者の同意	盖
□院内学級・院内分校への通級(学)	□担任 □養護教諭 □生徒指導担当 □その他(	)
□地元(原籍)校への通学 □訪問学級	□現状での問題点(	)
□通信教育 □その他( )	□今後の方向性(	)

回/週•月

□その他:

上記説明を受けました。 年 月 日 本人サイン

回/週・月

保護者サイン

(注) 内容は、現時点で考えられるものであり、今後の状態の変化等に応じて変わり得るものである。 (児童・思春期精神医療入院診療計画書記載上の注意)

- 1. 入院の早い時期に、医師、看護師、精神保健福祉士、公認心理師などの関係者が協力し、治療計画を決めること。
- 2. すみやかに、患者、保護者へ説明を行うとともに交付すること。(病状によっては、別紙2のみの交付でも可)